

	授業前と授業後の「働くことについて」の考え方の変化や、新たに気付いたこと
Kさん	授業前は、働くことについて、あまり考えたことはなく、生活していくために必要なこと、くらいにしか思っていませんでした。 しかし、今回の企業体験活動を通して、社会に貢献するため、 自分の夢や思いを実現するために様々な取り組みをしていらっしゃる企業をたくさん知り、働くことの意義について、改めて考えさせられました。 社会に貢献していると実感して、それがやりがいにつながっていたり、実際に自分のやりたいことを実現させてしまったりしているというお話を聞き、 自分の好きなことや得意なことを活かして仕事をしていきたいと感じました。
Aさん	効率とチームワークの大切さに改めて気付かされ、さまざま職とその詳細を知り、 適所適材、自分に合った職はどんなものか、より深く考えられるようになった。
Mさん	授業前は働くことは社会に責任を負うことだと思っていて、どちらかといえば楽しいものではない、義務的な側面を強く感じていました。 授業後は、働くことで自分も充足感を得て他人を幸せにし、 仲間（ファン）を増やしていく活動なのだという前向きな側面で仕事を捉えられるようになりました。
Tさん	これまで働くことはお金を稼ぎ社会と繋がることだと漠然と思っていました。 しかし、実際になぜ社会と繋がるのが大切なのか、また働く上でどのような想いを大切にしていくべきなのかは考えたこともありませんでした。 今回の授業を通して、社会と繋がるというのは「より良い社会を作っていくにはどのようにしたらいいのだろう」という気持ちが 働く上で大切なのだと考えま した。またその想いが結果的に社会に還元していくことになり社会と繋がるということになるんだなと思いました。 「社会と繋がる」という自分発信の目的のためではなく「誰かがより良い生活が出来る」という他者のためという目的が 最終的に自分の為になりやりがいになるのだと学びました。
Kさん	授業を受ける前は働くことについて聞かれても、自分が社会に所属するためにすることというような、 居場所を作らないと生活できないから働く、という消極的な認識でいました。 しかし今回の授業を通して、他者に対して能動的に関わっていくことで上記の目的も満たし、さらに自己実現なども達成できるのだと分かりました。 また、どんな業界であってもコミュニケーションは欠かすことができず、非常に重要な能力であると知りました。
Fさん	以前は働くことはお金を稼ぐためだとか社会に参画するためだとか自分中心で考えていました。 しかし原田車両設計さんに訪問して、働くとは傍を楽にすることでありファンを創ることだと分かりました。 社員さんであるとかお客様であるとか周りの人を中心に働くということを考えれるようになりました。
Tさん	働くことはファンを作っていくこと、ファンが多いと他の人が自分を信頼してくれる。 自分は企業志望なので響きました。ファンをつくることは簡単にできることではないですが、 自分は将来に役に立てるようにとある業種の勉強を1年くらいしています。 このまま資格が取れないと心配ですが、開発・設計などで活躍されている皆様に会えて将来の自分を考えるきっかけになりました。
Sさん	働くことはファンを作っていくこと、ファンが多いと他の人が自分を信頼してくれる。自分は企業志望なので響きました。 ファンをつくることは簡単にできることではないですが、自分は将来に役に立てるようにとある業種の勉強を1年くらいしています。 このまま資格が取れないと心配ですが、開発・設計などで活躍されている皆様に会えて将来の自分を考えるきっかけになりました。
Fさん	実際に企業で働いている方の話をまとめた動画をいくつも拝見することで、職種ごとの考え方ややりがい違いまた、 共通している部分に関して多くのことを学べた。 今回学んだ職業観などを活かして就職活動をしていきたいと考えている。